

平成30年度の研究成果をご活用ください

プロジェクト研究	小学校	国語科	国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する小学校国語科の授業づくり -「情報の扱い方に関する事項」と「読むこと」を相互に関連させて-
		算数科	数学的に考える資質・能力を育む小学校算数科「データの活用」領域における授業づくり -「学びの系統図」の作成を通じた統計的な問題解決活動の充実-
	小学校・中学校	理科	「粒子」・「生命」領域における小・中学校の学びのつながりを見据えた理科の授業づくり -児童生徒が発達段階に応じて働かせる理科の見方・考え方を明らかにすることを通して-
小学校派遣研究	小学校	外国語活動	児童が主体的に英語でコミュニケーションを図る授業づくり -小・中学校の系統的な学習を踏まえた言語活動の充実を通して-
		ICT活用	児童の情報活用の実践力を高める授業づくりのあり方 -蓄積した振り返りシートの分析を通して-
課題研究	小学校	体育科	小学校における体力向上策を支援する新体カテスト「新・分析支援システム」の作成
		校内研究推進	育成したい資質・能力を明確にした小学校における校内研究の充実 -校内研究会を軸とした二つのPDCAサイクルの運動を通して-
		特別支援教育	小学校の通常の学級におけるそれぞれの子どもが参加している実感・達成感をもてる授業づくり -一人の困っている子どもの姿から始めるグループ検討会を活用して-
	高等学校	理科	科学的に探究するために必要な資質・能力の育成を目指した高等学校理科の授業改善 -探究の過程の充実に向けた指導と評価のあり方-
		外国語科	主体的に考えを表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力の育成を目指す 高等学校外国語科の授業づくり -インプットとアウトプットが往還する言語活動の充実を通して-
		情報教育	一人1台のタブレット端末活用による家庭学習と授業との学びの連携 -高等学校における思考ツールの活用を通して-
特別支援学校	特別支援教育	特別支援学校における自立活動の指導の充実 -個々の児童生徒の的確な実態把握を根拠とした実践を通して-	

志 苑

滋賀県総合教育センター所報
〒520-2321 滋賀県野洲市北桜
TEL 077-588-2311 FAX 077-586-0011
http://www.shiga-ec.ed.jp/

平成31年 2月

Vol.135



自律的に学び続ける教職員を全力で支援します！
～子どものために本当に大事にしなければならないことは？～
次長 前田 利幸

穏やかな天候で迎えた「平成最後」の年明け。2月になり、まだまだ厳しい寒さの中にも、少しずつ春の訪れを感じる時節となりました。

平成30年度の当センター諸事業も皆様方のご支援、ご協力のお陰をもちまして無事終わることができました。厚くお礼申しあげます。

さて、あと1年で小学校の次期学習指導要領が全面実施となり、その1年後に中学校、さらにその1年後に高等学校が年次進行で実施されます。

今回の改訂では「主体的・対話的で深い学び」や「カリキュラム・マネジメントの確立」などがポイントとなっています。子どもたちがこれからの未来社会でたくましく生きるための力を育むために、子どもたちにどのような資質・能力が求められているのか、そのためにはどうしなければならないのか、学校にも、私たち教職員にも、「今までしてきたこと」から「これからはしなければならないこと」への意識改革が求められています。

「よき劫の住して、悪き劫になる所を用心すべし」

良いとされてきたことに安住すると、それがむしろ悪い結果になってしまうことに用心せよという世阿弥の言葉ですが、私たちは一度うまくいった経験があるとそのことに囚われて、なかなか変えることができなくなることがあります。私も学級担任をしていたときに、過去にたまたまうまくいった不登校生徒への対応を、何年か経って同じような対応をしようとして大失敗をしたことがあります。「子ども一人ひとりとは違う。目の前の子どもの姿をきちんと捉える」という最も大切にしなければならないことができていなかったのです。

「今までやってきてうまくいったから」「やらないよりはやった方がよい」と深く考えずにやるのでは進歩はありません。「本当にそのままがいいのか」「本当に大事にしなければならないのは何なのか」「目的達成のために変えることはできないのか」と改めて見つめ直すことが必要です。そのうえで、本当に大事にしたい目的達成のためには、場合によって思い切って変える勇気が必要です。

一方で、教職員の多忙化、「働き方改革」という

ことがあります。「子どものため」ということから抜け出せず、あれもこれもでは時間はいくらあっても足りません。優先順位を考え、効率よく仕事をする事で自分の時間を増やす。本を読んだり、いろいろな人と出会ったり、新たなことに挑戦したりする。視野を広げ人間としての幅を広げる。人としての成長は教育実践にも生かされてきます。人間味あふれる魅力ある教員であることが、結果的に「子どものため」になるのです。

子どものために本当に大事にしなければならないことは何なのか。目的達成のためにはどうすればいいのか。そのことを考えるためには、目の前の子どもの姿をきちんと捉え、教職員みんなが自由に意見を出し議論を深め、何がベストか検討する場を作り出すことが必要です。そこでの議論が、教職員一人ひとりの成長や学校の取組の改善につながり、「子どものため」により良く変わっていく原動力となります。

そして、その原動力の根幹をなすのが、常に自分を高めようと自律的に学び続けることではないでしょうか。

当センターでは、次年度も、「滋賀県教員のキャリアステージにおける人材育成指標」に基づき、「授業改善・資質向上」「学校改善・働き方改革」を二つの柱として、子ども一人ひとりの個性を大切に、生きる力を育むために、諸事業を実施して参ります。

特に、「サテライト研修」として、学校や市町教育委員会等が行う教員研修や授業研究会にセンター所員が出向き、連携して研修を実施することで、質の高い支援となるよう取り組んで参ります。現場に近いところで実施することで参加する教職員の負担感を軽減し、実際の子どもの学び姿から研修を深めます。研修と実践の一体化を図り、児童生徒の学ぶ力の確実な定着につなげていきたいと考えています。

現場のニーズに応える総合教育センターを念頭に置き、自律的に学び続ける教職員を、そして、組織的・協働的な学校づくりを支援して参ります。どうぞよろしくお願いたします。

平成30年度「第61回 研究発表大会」

2月15日(金)に、研究発表大会を開催しました。県内外から、多数の教育関係者の方にご参加いただきました。研究論文(第61集)を各校にお届けします。ぜひ、ご活用ください。

研究成果・教育学習情報が役立ちます



センターHPの研究成果(研究論文、研究成果物)や教育学習情報(研究、教材など)をご活用ください。日々の実践に生かせる様々な情報をご覧いただけるほか、検索機能もあります。この所報もダウンロードできます。

「サテライト研修」をご活用ください

総合教育センターは、引き続き「出かけるセンター」として、センター所員が出向き、学校や市町教育委員会等に寄り添った支援を行ってまいります。平成31年度からは、

- ☆市町サテライト研修(これまでの「サテライト研修」)
…市町教育委員会等と協働し、市町で行う研修
- ☆学校サテライト研修(これまでの「学校改善支援」)
…各学校のニーズに合わせて、学校で行う研修

と名称を変更し、内容も増やし更に充実させます。また一覧表にない研修、研究発表についても、ご相談ください。

- (例)・〇〇科における授業づくりの視点
- ・主体的、対話的で深い学びの視点からの授業づくり
 - ・全ての教職員のためのカリキュラム・マネジメント
 - ・子どもの理解と支援～感覚の視点から～
 - ・わかる!できる!情報モラル
 - ・平成30年度研究成果の発表

センターHPの「学校支援」をご参照のうえ、活用したい研修、研究がありましたら、下記までご連絡ください。

TEL:077-588-2311 FAX:077-586-0011 学ぶ力向上係まで

特別支援教育相談について

発達障害等により学習面や生活面で困難な状況がある幼児・児童・生徒に関する相談に、専門の相談員が応じます。

- 対象…本人(幼児・児童・生徒)・保護者・教職員等
- 方法…来所相談、電話相談
- 相談日…月～金曜日(祝日、年末年始等を除く)
- 相談時間…9:00～12:30
- 連絡先…TEL 077-588-2505 (教育相談専用電話)
- 13:00～16:30

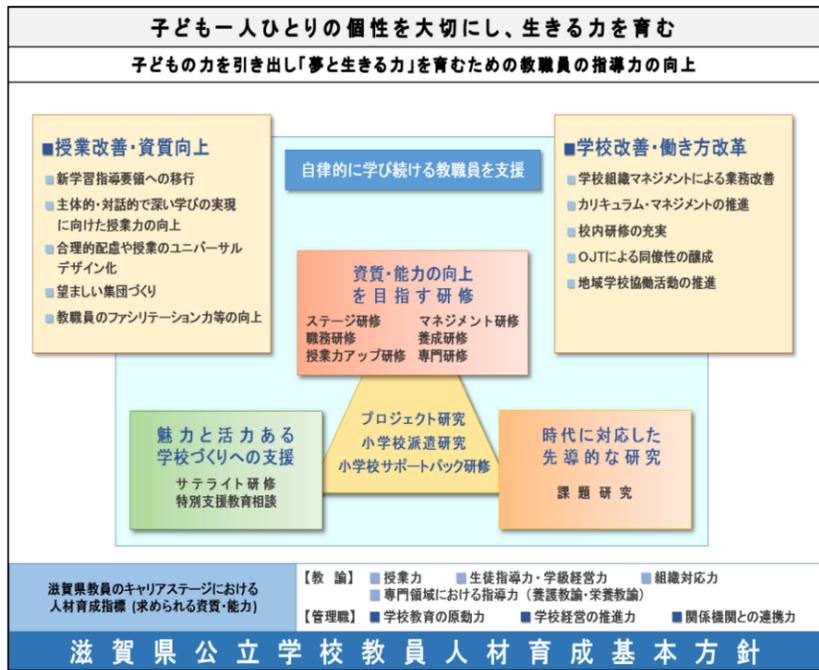
図書資料室より

教育関係の本や資料を閲覧したり、借りたりすることができます。どうぞ、ご利用ください。

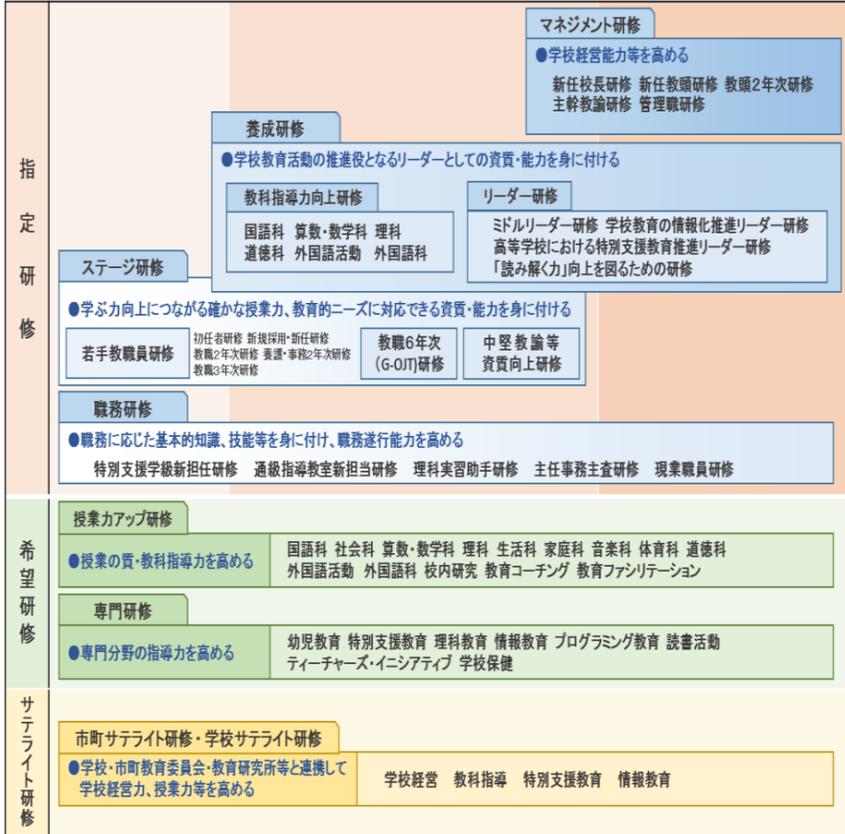
総合教育センターは自律的に学び続ける教職員を支援します！



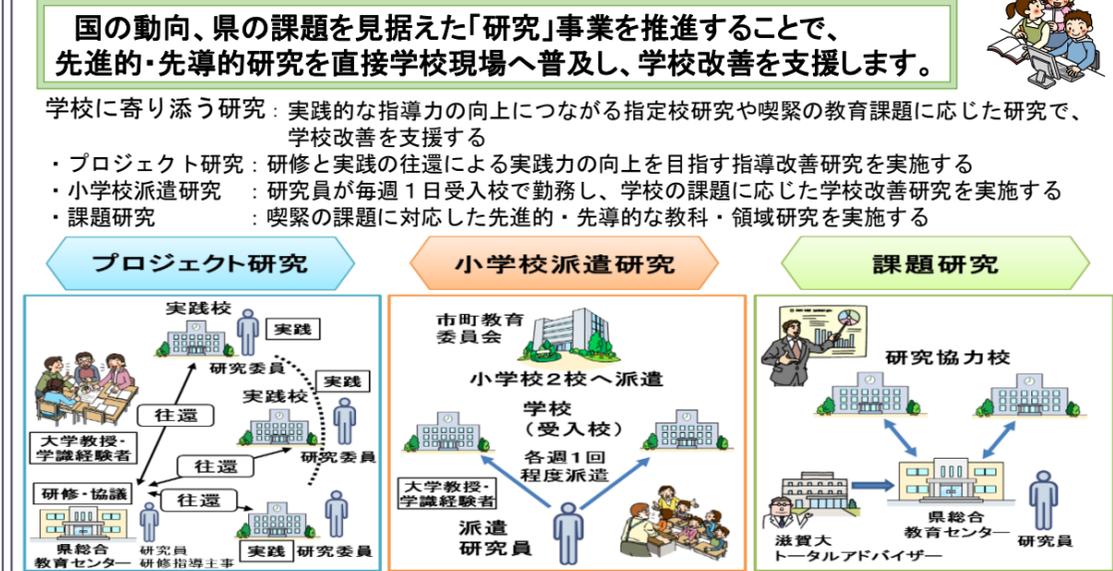
平成31年度 滋賀県総合教育センター 理念図



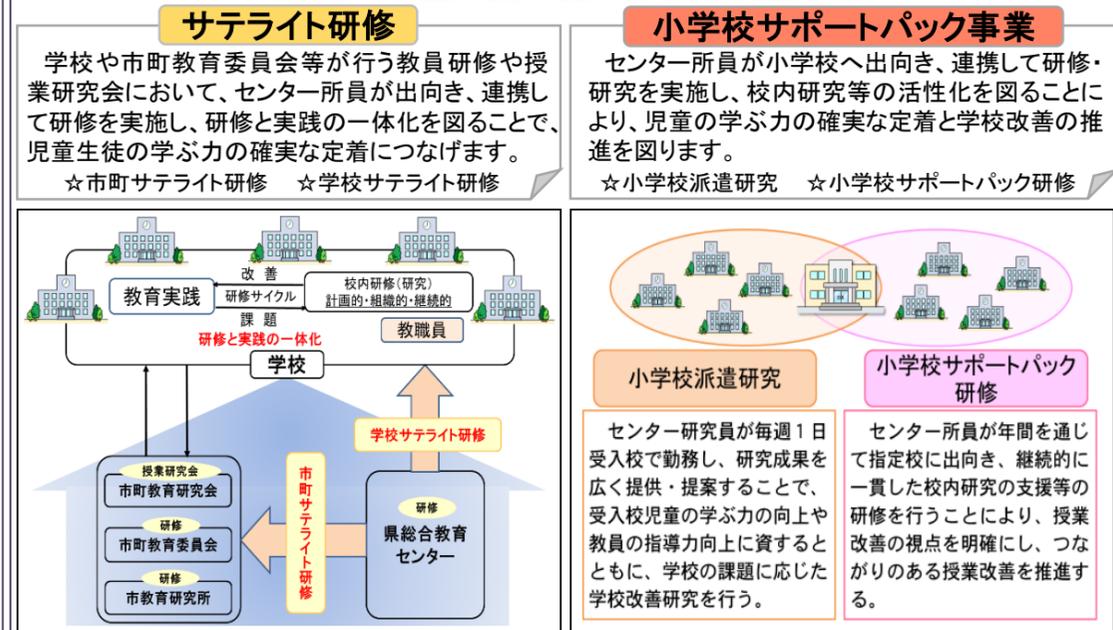
平成31年度 滋賀県総合教育センター 研修体系図



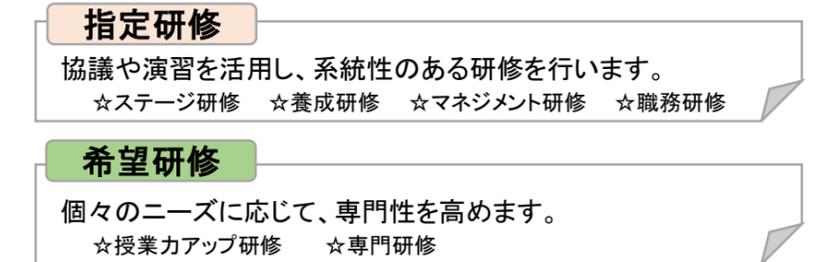
平成31年度 学びの質を高めるための研究事業



平成31年度 質の高い学校等支援事業



子どもの学ぶ力の向上のために、自律的に学び続ける滋賀の教職員の皆さんを支援します。研修では、実践的指導力や個々のキャリアに応じた資質・能力の向上を目指します。



【2つの柱】
◎授業改善・資質向上
◎学校改善・働き方改革

【キーワード】
☆資質・能力の向上を目指す研修
☆魅力と活力ある学校づくりへの支援
☆時代に対応した先導的な研究



詳しくは「平成31年度(2019年度)研修・事業案内」をご覧ください。

子ども一人ひとりの個性を大切に、生きる力を育むために、全ての教員が、新学習指導要領で求められる授業改善に対応した教科指導力を身に付けることと、「教員は学校で育つ」の考えのもと、「チーム学校」の一員として学校を支え、自律的に学ぶ教員を支援することに取り組みます。

平成30年度「センター事業にかかるアンケート」結果《抜粋》
※詳細はHPをご覧ください

県内の幼・小・中・高・特別支援学校等、市町教育委員会および教育研究所等の教職員を対象に、総合教育センターの事業に関するアンケートを実施しました。いただいたご意見を今後の運営に生かします。
実施時期：平成30年8～9月
回答数：1,443人
ご協力ありがとうございました。

